

仙台市インフルエンザ流行情報 (2026/27 シーズン 第 2 号)

発行 令和 8 年 10 月 28 日

インフルエンザは流行時期に合わせ、国の通知に基づき毎年第 36 週（8 月末～9 月上旬）から翌年の第 35 週までの 1 年間をインフルエンザシーズンとして全国的に発生動向が調査されています。2026/27 シーズンは 8 月 31 日から開始されました。

仙台市では、2026 年第 43 週（10 月 19 日～10 月 25 日）にインフルエンザの 1 定点医療機関当たりの患者報告数（「定点当たり報告数」）が 11.00 となり、令和 6 年度まで運用していた注意報発表基準値 10.00 を上回りました。

市内、全国ともに前シーズンよりも早く流行入りし、定点当たり報告数の増加傾向が続いていることから、以下の基本的な予防対策を心がけていただくようお願いいたします。

インフルエンザの予防対策

- 室内ではこまめな換気を行いましょう
- 乾燥しやすい室内では、加湿器などを使用し、適度な湿度（50～60%）を保ちましょう
- 睡眠などの十分な休養と、バランスの取れた栄養摂取を心がけましょう
- 流行期には人混みや繁華街への外出を控えましょう
- 咳やくしゃみが出るときや、人ごみに行く場合は、マスクを正しく着用するなど咳エチケットを心がけましょう
- 外出後や食事前など、石けんによるこまめな手洗いやアルコール製剤による手指消毒を徹底しましょう
- ワクチンは発症を抑える効果や重症化を予防する効果がありますので、予防対策の一つとしてご活用ください

1. 市内のインフルエンザ患者報告状況

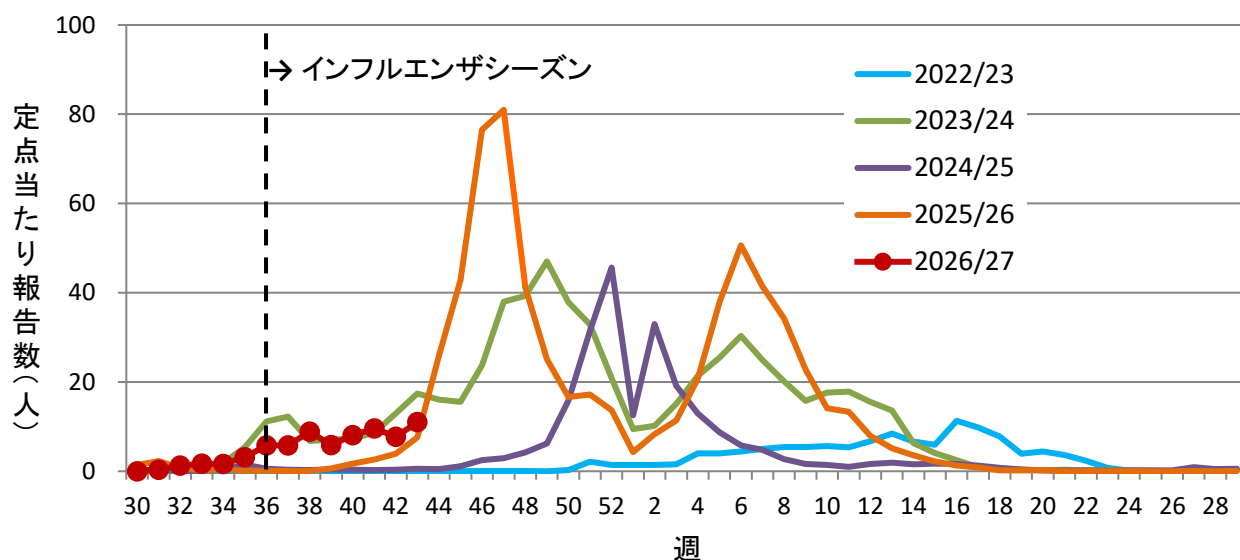
・ 2026 年第 43 週（10 月 19 日～10 月 25 日）における報告数

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	市全域
報告数	117 人	40 人	18 人	43 人	68 人	286 人
定点当たり	16.71	8.00	4.50	8.60	13.60	11.00

・ 2026 年第 43 週（10 月 19 日～10 月 25 日）に報告された 286 人の年齢群別数

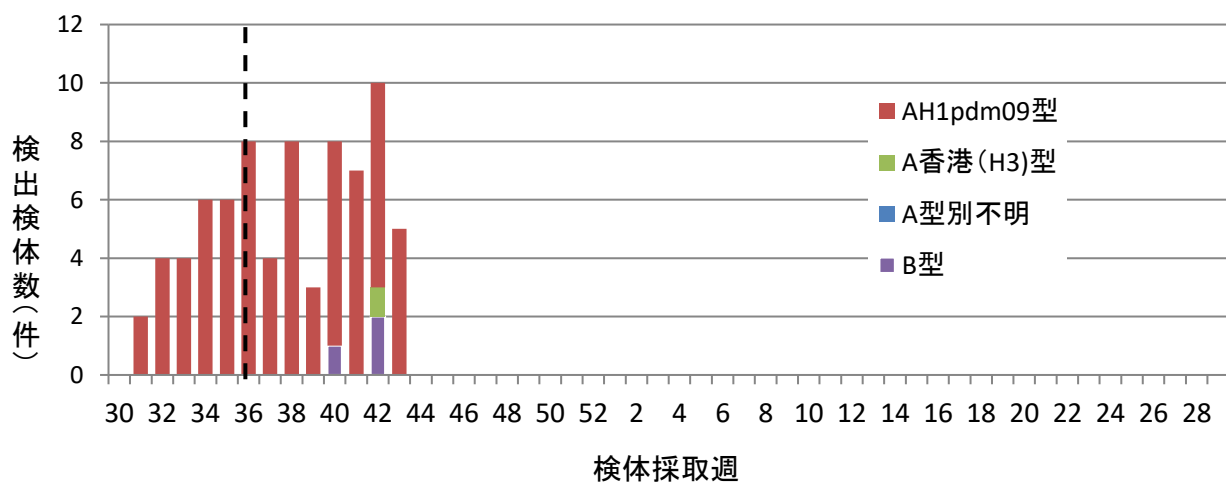
年齢	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60 以上	合計
報告数	73	102	46	5	10	13	17	12	8	286 人

・ 定点当たり報告数の推移（過去との比較）



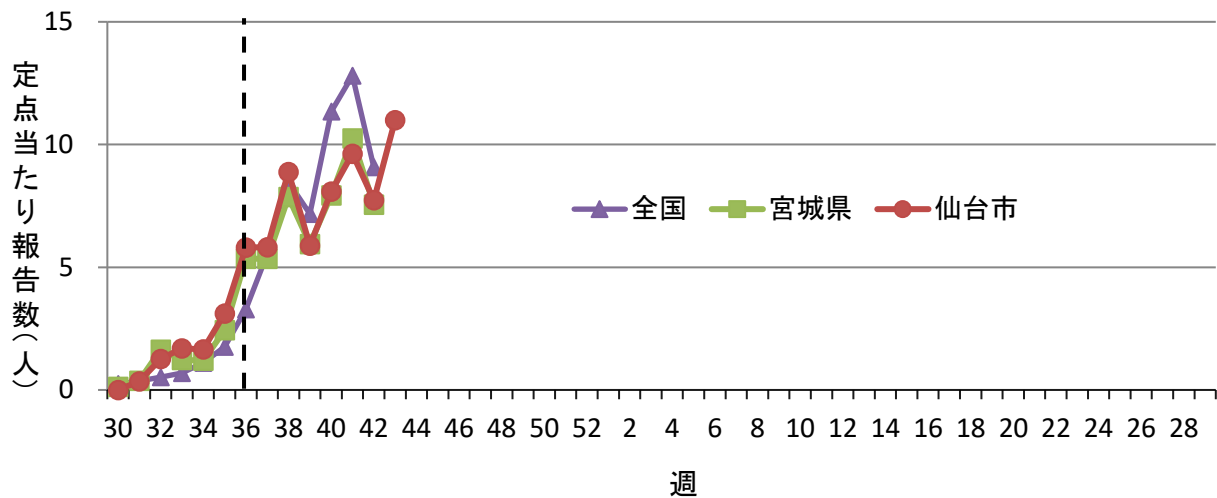
・ インフルエンザウイルス検出状況

市内病原体定点医療機関からの検体を仙台市衛生研究所で検査したもの（2026 年 10 月 26 日時点）



2. 宮城県及び全国における定点当たり報告数の推移

第43週報告数は仙台市のみ表示（2026年10月28日現在 宮城県及び全国は未公表のため）



3. 参考ウェブサイト

仙台市：感染症情報・予防接種

<https://www.city.sendai.jp/kurashi/kenkotofukushi/kenkoiryo/kansensho/index.html>

仙台市：衛生研究所 感染症情報

<https://www.city.sendai.jp/bisebutsu/kurashi/kenkotofukushi/kenkoiryo/ese/kansen/index.html>

市立学校のインフルエンザによる学級閉鎖等の措置状況

<https://www.city.sendai.jp/hokentaiku/influenza/gakkyu-heisa.html>

厚生労働省：インフルエンザ（総合ページ）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

国立感染症研究所：インフルエンザウイルス分離・検出速報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>

厚生労働省：咳エチケット

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001174681.pdf>

仙台市衛生研究所 微生物課企画調整係

TEL:022-355-2427 FAX:022-786-8253